経営現況報告会



2013年6月20日

株式会社アドバネクス

本資料は2013年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

主な内容

1. 2013年3月期ハイライト

2. 中期事業方針

3. 2014年3月期通期見通し

ADVANEX

1. 2013年3月期ハイライト

1−1　通期連結業績のポイント

◆売上高は減少したものの、最終利益は増加。

売上高減少の要因は、ヒンジ事業の縮小と精密ばね事業におけるOA機器向け・PC関連機器向けの売上減少。営業利益は前期に比べ減少したが、円安により為替差益が発生したことから、経常利益は前期より増加。タイ工場の保険金収入による特別利益により、最終利益は111%増加。

◆自動車向け売上高が増加

国内、海外ともに自動車向けの売上高が前期よりも伸長。海外では、タイやベトナムの伸びが大きかった。

◆6期ぶりに復配

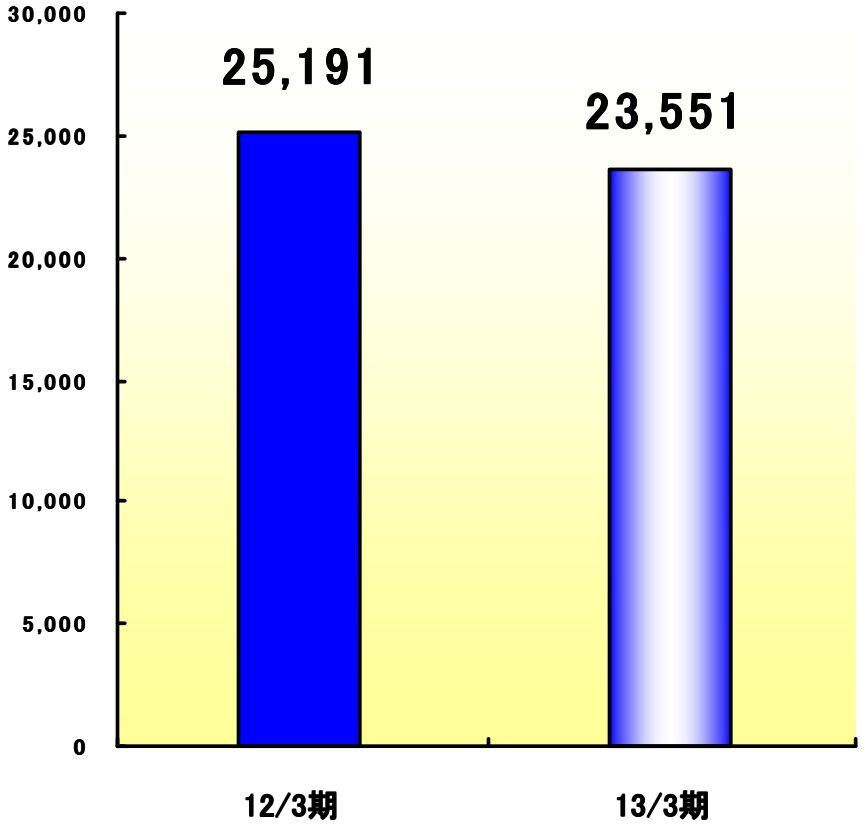
2期連続の黒字達成により、1株につき1円の配当を実現。

ADVANEX

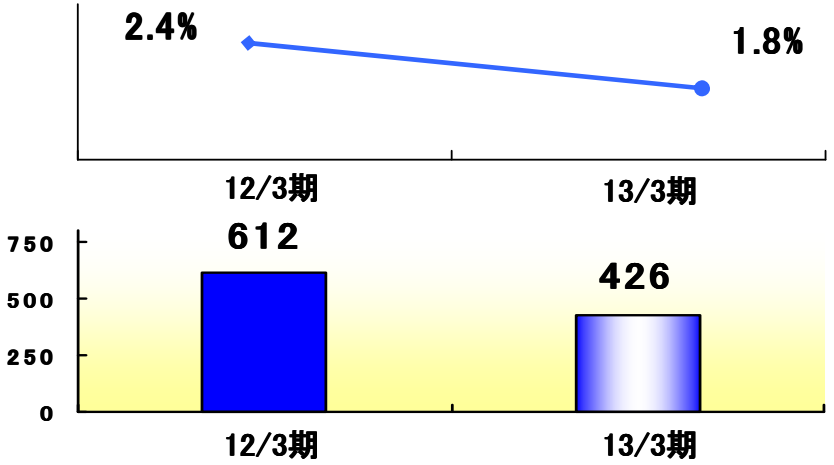
1-2　通期業績推移(連結)

売上高

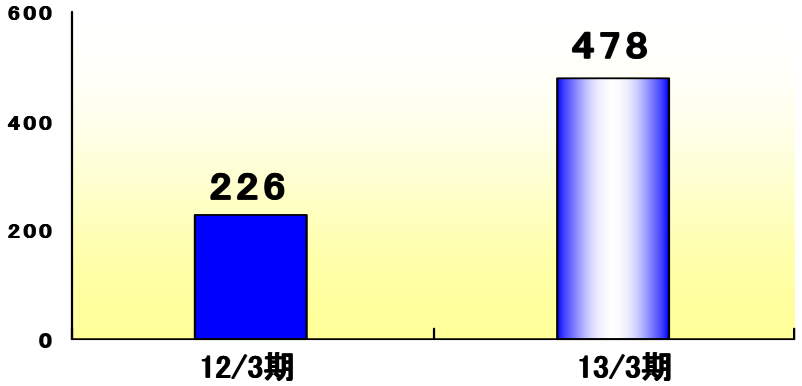
（単位：百万円）



営業利益・利益率



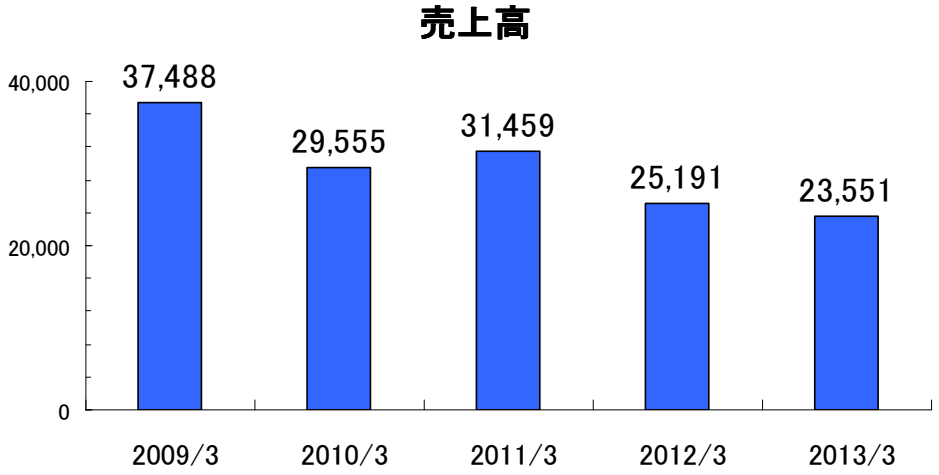
当期純利益

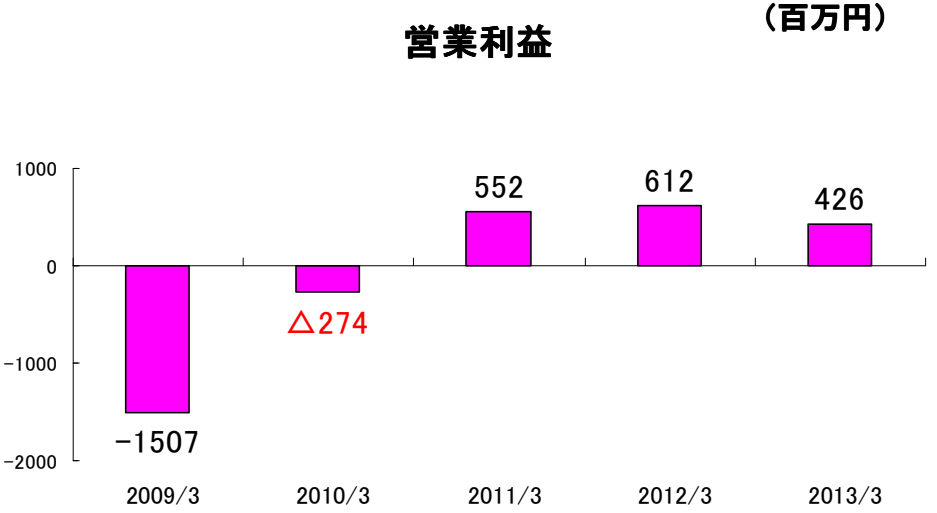


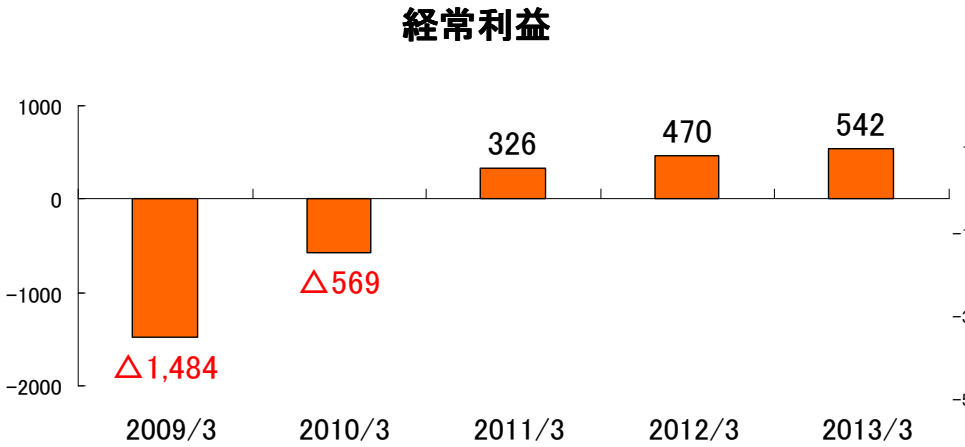
ADVANEX

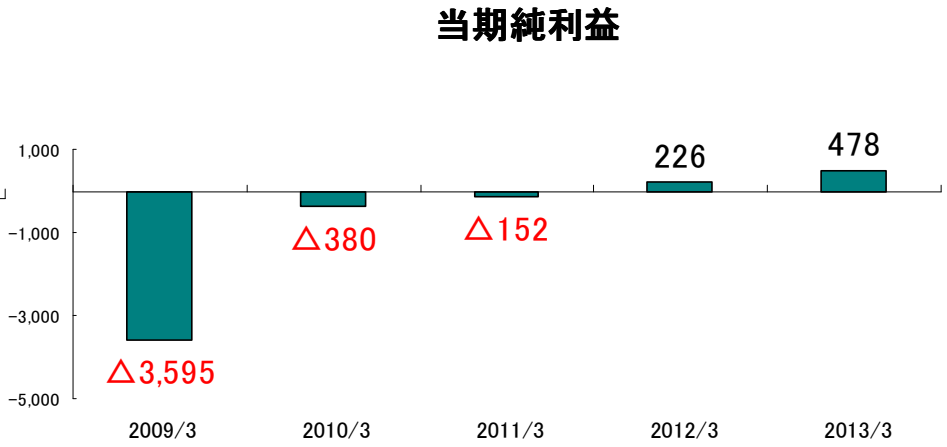
1-3　過去の業績推移(連結)

(百万円)



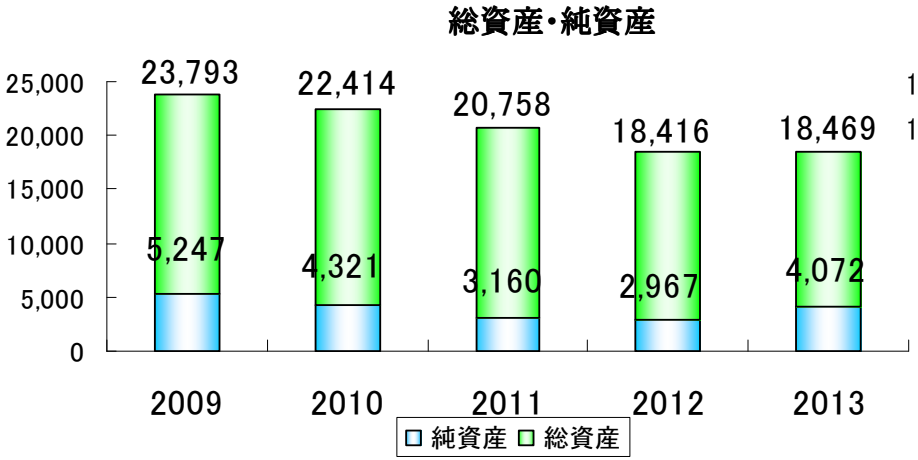


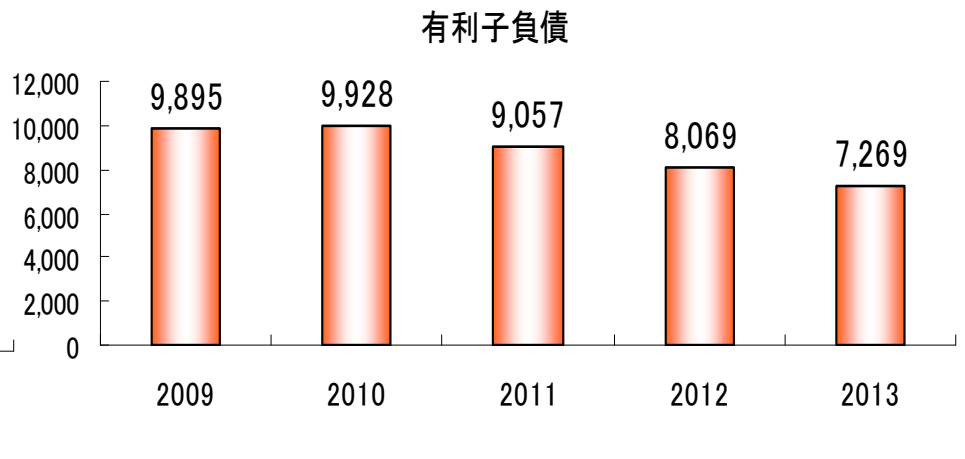


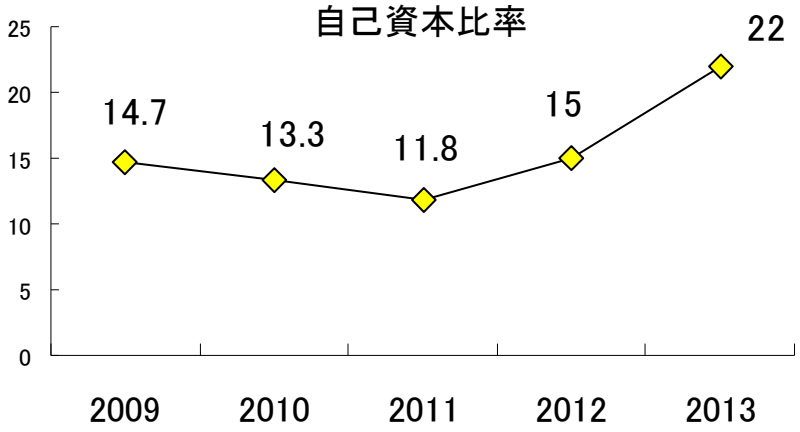


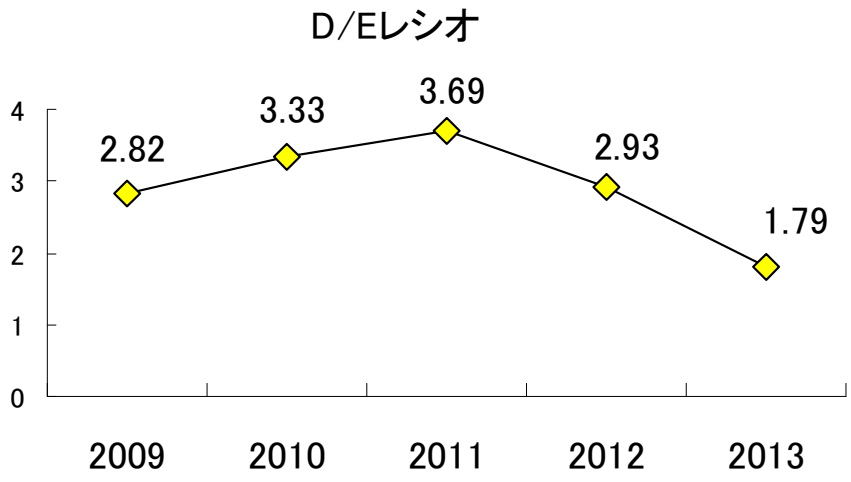
ADVANEX

1-4　資産状況の変化









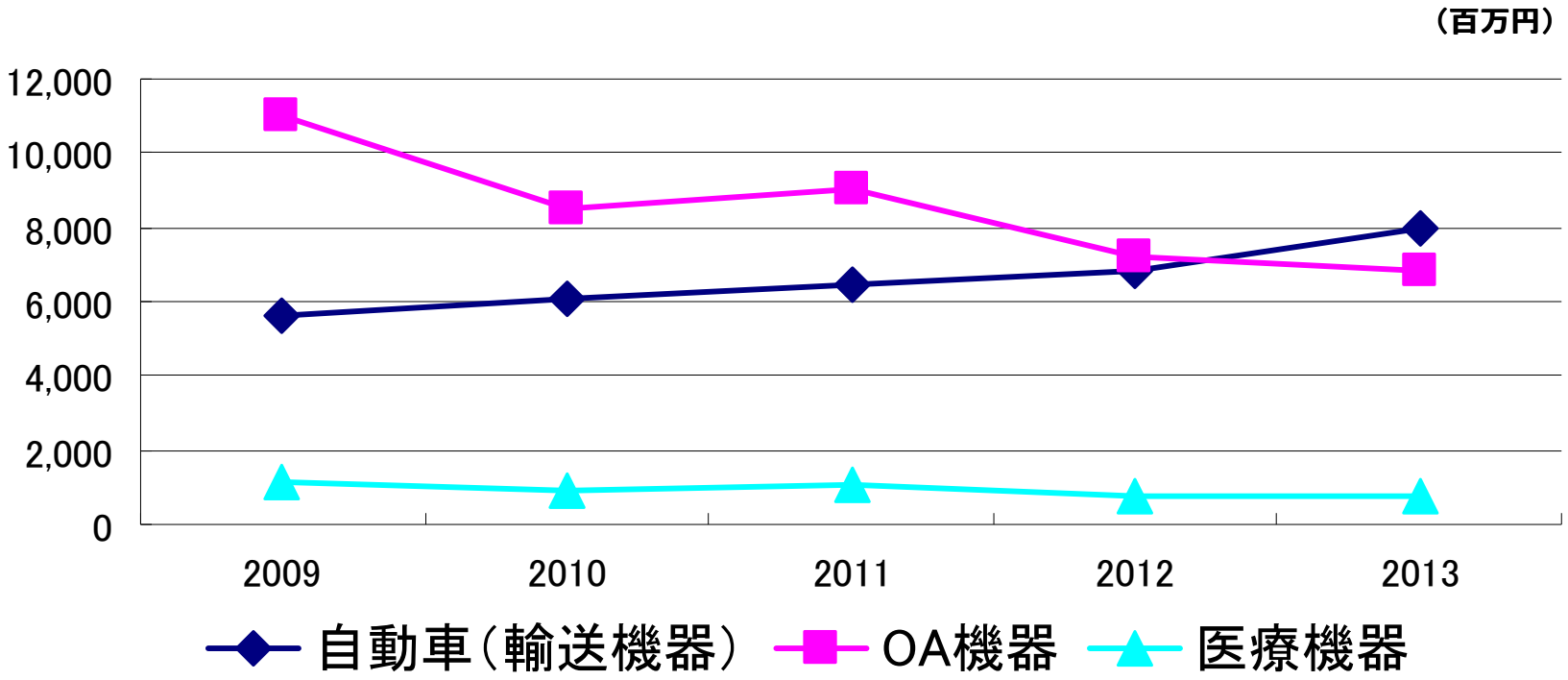
※自己資本比率＝自己資本÷総資産

※D/Eレシオ＝有利子負債÷自己資本

ADVANEX

1-5　重点市場の売上高推移(連結)

自動車向け売上高が伸長、OA機器向けを逆転



ADVANEX

1-6　中国常州工場の進捗状況について

認可の遅れから子会社設立は本年1月。7月から量産開始予定。



工場外観

プロダクション
エリア







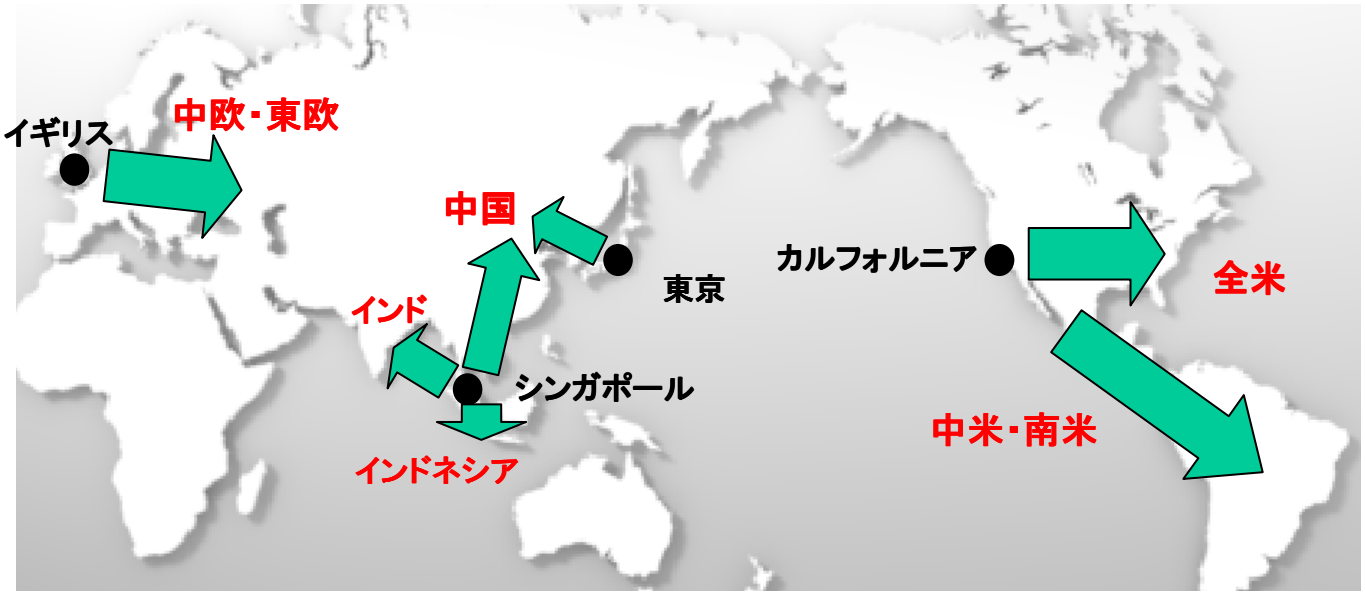
ADVANEX

2. 中期事業方針

2-1　中期ビジネスプラン

中期目標:　売上成長率　10%/年の継続
営業利益率　10%の達成
（2018/3期:連結売上高400億円、営業利益40億円目標）

アドバネクスグループのグローバル展開プラン



ADVANEX

2-2　中期事業方針（精密ばね事業）

（1）グローバル展開の推進

アジア：　中国常州工場の生産拡大、タイ・ベトナム拡張
シンガポール子会社によるインド・インドネシア新規進出

ヨーロッパ：　英国子会社による中欧・東欧新規進出

アメリカ：　米国子会社による全米展開（ネット販売強化）、
メキシコ工場拡張と中南米新規進出

（2）国内ビジネスの強化

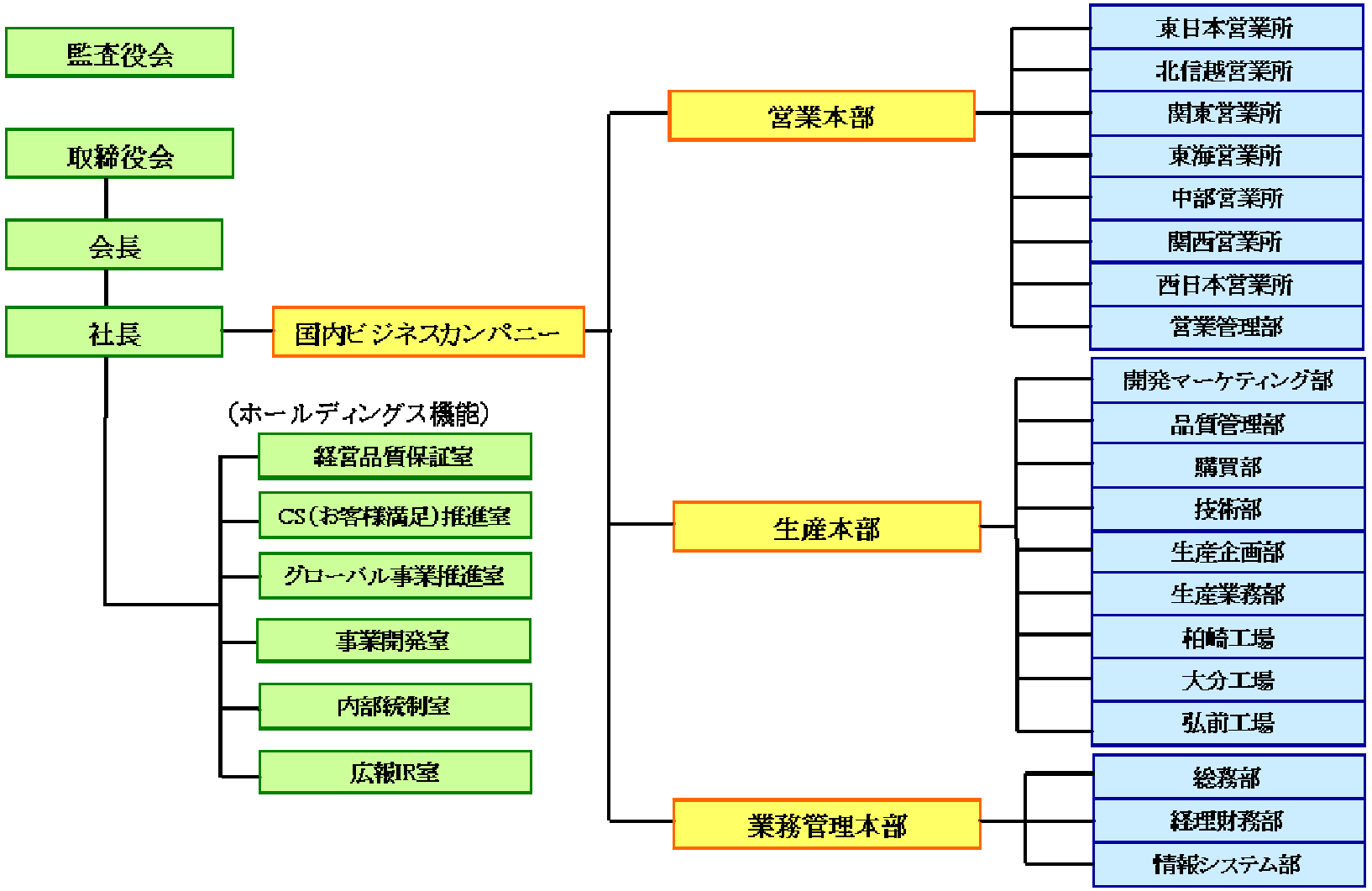
・国内ビジネスカンパニー制による事業責任明確化と意思決定迅速化
・営業組織の変更によるエリア営業強化と新規顧客開拓
・規格品ビジネスの開始と売上増加 → グローバル展開
（今年度1億円、3年後に国内売上高の10%目標）

（3）M&Aによる事業拡大

国内外で精密ばねメーカーを買収、製品・顧客・市場の多角化と売上増加

ADVANEX

（参考1） 4月1日付組織改革について



ADVANEX

(参考2)規格品ビジネス～オリジナルシリーズご紹介



タングレス・インサート



コイルスレッド-R



タモント



ダンパー





上:ヘキサトルク　下:シュアトルク



ホールドタイプ

ADVANEX

2-3　中期事業方針（プラスチック事業）

海外事業強化と収益増加

・自動車向け販売強化
・OA機器向けは国内売上高減少を海外でカバー
・日系重点顧客向けグローバルセールス拡大
　　マレーシア（AV家電メーカー）、ベトナム（自動車部品メーカー）
　　中国（自動車部品、OA機器メーカー）

国内事業の深耕

・重点市場、重点顧客の絞込み
　自動車、OA機器、住宅関連設備の大手顧客にフォーカス
・高付加価値商品の開発強化
　自動車向け高性能ギヤユニット（舵角センサー向け）、高機能便座ユニット、
　セラミック製（フェルール）光通信コネクター部品等
・精密ばね事業との連携強化による受注拡大（超精密インサート成形）

2-4　経営体制の変更

社長交代による若返りと会長・社長の二人三脚による経営強化

加藤雄一
代表取締役会長
Chairman & CEO
1950年2月生まれ（63歳）
[主業務]
グループ未来戦略



柴野恒雄
代表取締役社長
President & COO
1960年1月生まれ（53歳）
[主業務]
短期・中期の事業執行



就任予定日
2013年6月20日

ADVANEX

3. 2014年3月期通期見通し

3-1　2014年3月期業績予想について

■売上高の回復に伴い、営業利益が増加

精密ばね事業とプラスチック事業において、自動車向けの売上が国内および海外で増加することや、OA機器向けの売上高も下期に国内が回復する見込みであることから、売上高は前期比11.7%の増加。これに伴い、営業利益は前期比63.9%の増加。

■経常利益と当期純利益は減少

前期に計上したタイの保険金収入による特別利益がなくなることや、為替変動の影響を除外したため、経常利益と当期純利益は前期より減少する予想。
為替の前提は1米ドル90円とした。（1円の円安で約35百万円の経常利益押上げ効果）

■配当は1株当たり50銭増加の1.50円に引上げ

3-2 2014年3月期通期業績予想(連結)

(単位:百万円)

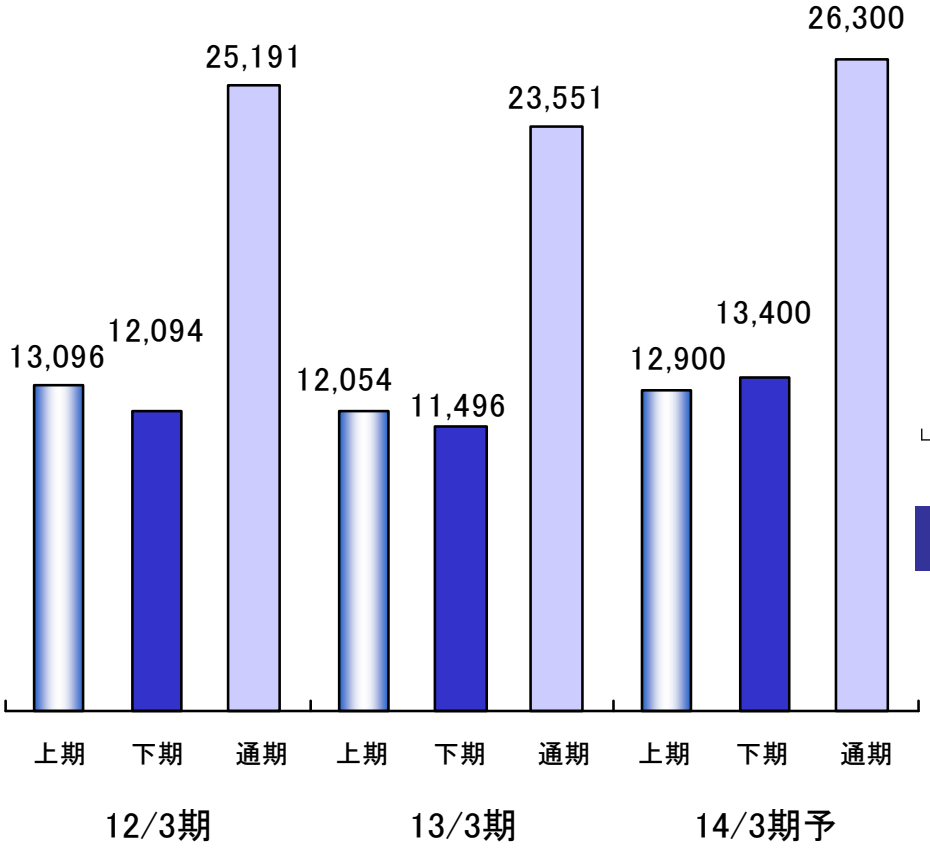
	13年3月期(実績)		14年3月期(予想)		第2四半期増減		通期増減	
	2Q累計	通期	2Q累計	通期	額	率	額	率
売上高	12,054	23,551	12,900	26,300	846	7.0%	2,749	11.7%
営業利益	242	426	290	700	48	19.7%	274	63.9%
営業利益率	2.0%	1.8%	2.2%	2.7%	0.2%	-	0.9%	-
経常利益	95	542	150	430	55	57.0%	△112	△20.7%
当期純利益	127	478	40	200	△87	△68.7%	△278	△58.2%

ADVANEX

3-3 業績推移(連結)

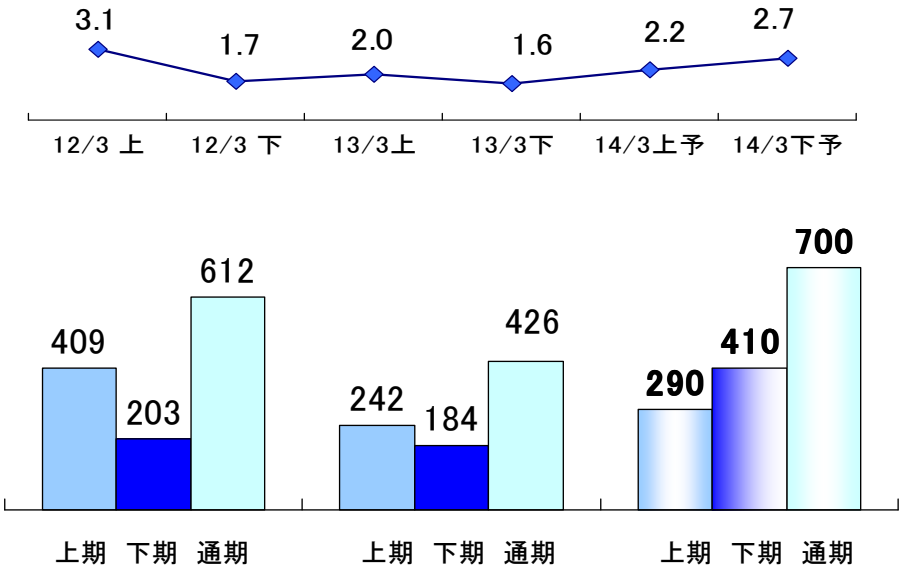
売上高

(単位:百万円)

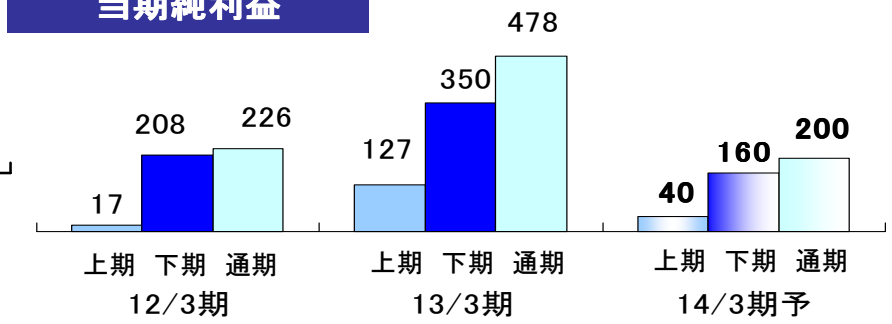


営業利益・利益率

(%)



当期純利益

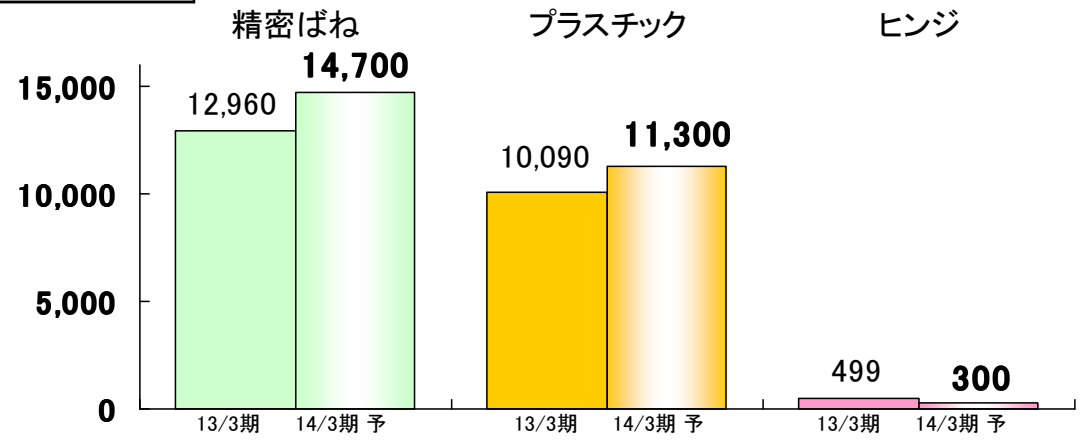


ADVANEX

3-4 事業別売上高・セグメント利益の予想

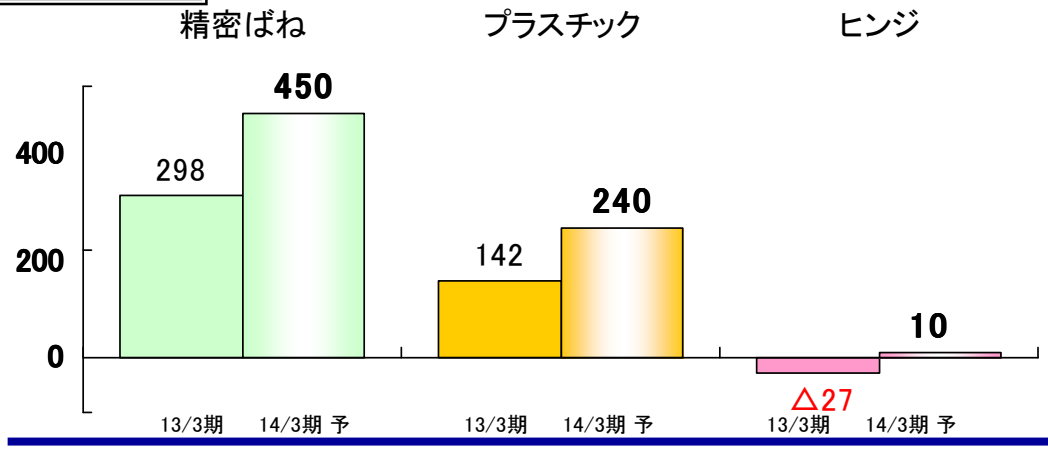
売上高

（単位：百万円）



精密ばね事業、プラスチック事業とも、自動車向けが国内外で伸長。OA機器向けも下期に回復を見込む。ヒンジ事業は、製品終息により、売上減少。

セグメント利益



精密ばね事業は、売上増加に伴い利益が増加。プラスチック事業は中国とアジアで利益増加。 ヒンジ事業は、固定費削減が進み、損失解消。

ADVANEX

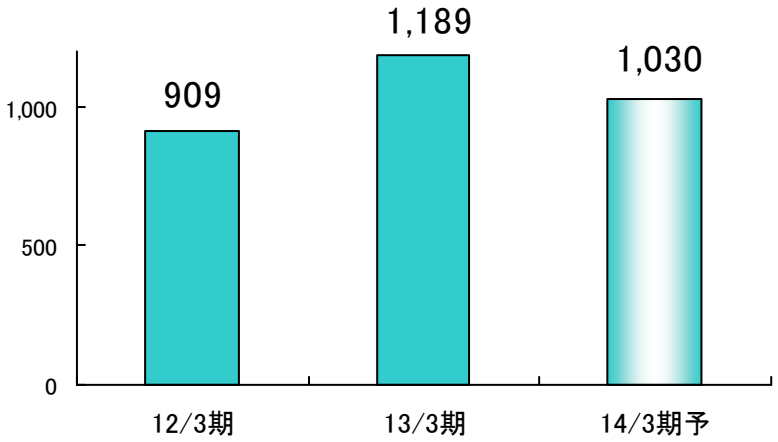
3-5　今期設備投資計画

■前期に比べ、タイ工場の設備投資額が大幅に減少（建物、機械設備）

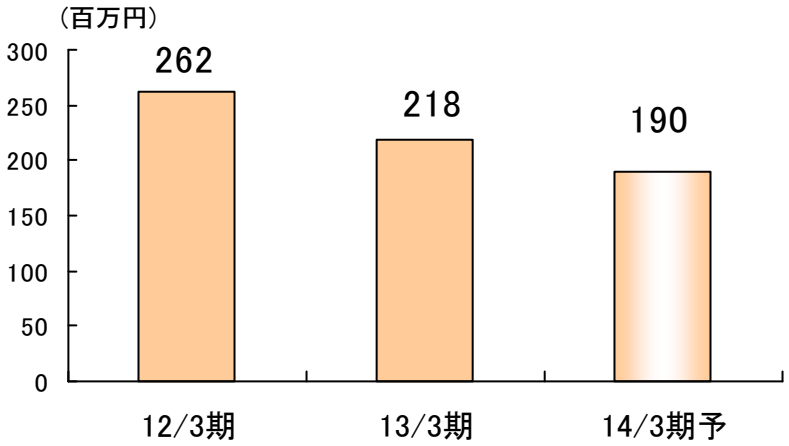
設備投資：　機械装置、試作設備ほか
国内　400百万円　海外　630百万円
研究開発費：プラスチック事業で削減

設備投資

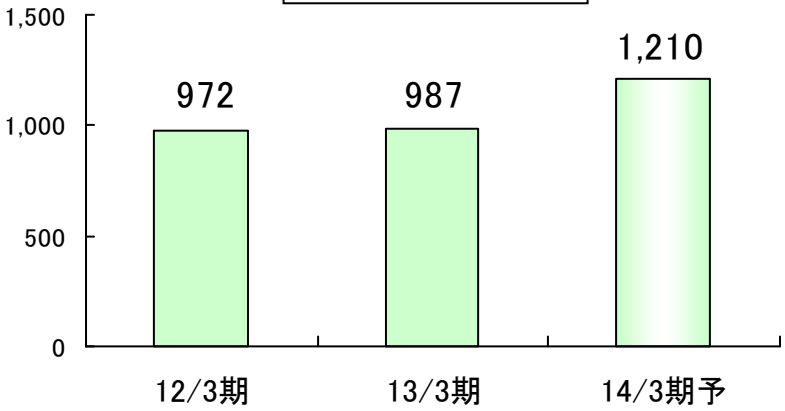
（単位：百万円）



研究開発費



減価償却費



ADVANEX



（お問い合わせ先）

株式会社アドバネクス
広報IR室

TEL：03 － 3822 － 5865　FAX：03 － 3822 － 5873
URL：http：//www.advanex.co.jp